

秋田空港

【実施主体：個社】

秋田空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、関係団体を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。	
	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先とのFY23契約金額に値上げを反映し実施済み。	【委託費改定率】 グループ内各社：平均+3.9%（FY22対比） グループ外委託先各社：平均+6.2%（FY22対比）
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定等）	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入を検討中。	
	検査会社への委託契約条件の設定	検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	
【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	

【実施主体：個社】

秋田空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進</p>	<p>屋外待機場所と休憩スペースの増床</p>	<p>グラハンの屋外待機場所と更衣室と休憩所が一緒であるため、労働環境改善のため、待機場所と休憩場所の共有スペースとして借り増し賃借することで増床。 FY23 11月増床（賃借面積 23.03㎡）実施済み。</p>	
	<p>オフィスリニューアル</p>	<p>更衣室兼休憩室改善による配置変更、停電による非常電源対応に適した配線と事務所レイアウトの変更により、作業の効率化や安全な労働環境の改善。</p>	
<p>【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進</p>	<p>処遇改善</p>	<p>検査員の給与を1～10%をアップした。 早朝勤務者に対する「特殊勤務手当」を新設し、7時以前の勤務開始者に支給を開始した。</p>	
	<p>休憩室へのコロナ対策、除菌・脱臭装置の導入</p>	<p>感染症予防および休憩室をより良い環境にするため、「UV-LED」と「光触媒」による除菌・脱臭装置を逐次導入した。</p>	
	<p>採用難空港における社宅の整備</p>	<p>従来は地方空港は空港までの通勤圏内者を採用していたが、寮、社宅を整備し、通勤圏外、全国からの採用を進める。</p>	
<p>【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握</p>	<p>生産量ならびに生産対応状況の把握</p>	<p>本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。</p>	
	<p>職員数や労働時間の定点的な情報収集</p>	<p>委託先社員の負担を含め、定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。負担の集中が見られる場合には適切な対応を図っている。</p>	<p>委託先業務の一部内製化など</p>
<p>【短期】 適切な業務量調整による高負担の抑制</p>	<p>正社員領域、派遣領域の見直し</p>	<p>復便、増便に伴う社員負担の軽減のため、採用を強化するとともに、正社員領域の見直しを実施。一部業務については、アルバイト・派遣社員等も活用し業務量（社員負担）を調整。</p>	<p>外航就航に伴い、アルバイトを採用済み。</p>

【実施主体：個社】

秋田空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	既卒採用の実施	総代理店に於いて既卒、Uターン、経験者の採用強化。OBOGのカムバック採用強化。	
	入社準備金の新設	新規採用者の入社時の移転費用の負担軽減を目的として、入社準備金を支給する制度を新設した。	
	自社グループ空港業務採用情報の特設サイトを公開	空港業務の幅広さや魅力を発信し、グループ各社への応募者増や委託先各社の採用機会に繋げるため、空港業務の採用情報に特化した特設サイトを公開。	https://www.job-jal.com/airport-recruitment/
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	複数社のランプ作業資格の相互承認	1社で複数社をハンドリングしている10空港を対象に、作業資格の相互認証ならびに同種教育（航空保安・飲酒対策・落下物防止対策）の共通化施策を検討中。 相互承認を行う対象資格を7つ（TT,BL,PBB,MAS,WW,PK,PB）に絞り、具体的な承認フローを検討中。1月30日～2月2日に対象10空港への説明会を実施し、意見を集約。R6年4月からの運用開始に向け、検討中。	① 訓練時間の削減：各資格に対する座学時間および実技時間が削減できる。（インストラクター、訓練生ともに） ② 訓練期間の短縮：P/Bは実技訓練機会に限られるため訓練期間が現状1年程度かかるが、大幅に短縮できる。
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	係員の訓練時間の適正化	本社にて、受託にかかる訓練時間の短縮余地の精査を実施。	
【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、他空港からの応援者を派遣することでリソース不足を解消。	
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備	自律的なキャリア構築に向けた成長・学びの場の提供	・公募による社内外異動の活性化。 ・グループ内外へ出向・派遣の拡大。	
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	職場、休憩室、更衣室の環境を確認し必要なエリア確保、什器交換等の環境改善	対応検討中	
【中期】 特定技能制度の積極的な活用	人財ポートフォリオの形成・多様な人財の活躍推進	・自社グループ内での特定技能の活躍の場を拡大。 ・外国人材の受け入れ体制、規程の充実。	

【実施主体：空港会社等】

秋田空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 空港内の労働環境の改善			
【短期】 空港の知名度を生かした採用活動			
【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】 空港WGの活用推進			
【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進			
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等）			

【実施主体：地方自治体】

秋田空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化</p>	<p>各事業者との意見交換</p>	<p>保安委員会等の機会を活かし、各事業者が実施する業務（保安・グラハン含む）に関する意見交換を随時実施。</p>	
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>			
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			